

Appendix

Blu-Ray Audio の再生方法

Blu-Ray Audio は 192kHz,24bit を含む現在最高の PCM 信号で音楽再生できるメディアです。これからの発展が期待できます。しかしながらこのデジタルオーディオ信号を BLU-RAY PLAYER で再生すると、プレーヤー内蔵 DAC のクオリティーで音質が左右され、いささかもったいない状況です。ここはぜひ R-DACu で再生し、最高のパフォーマンスを楽しみたいものです。

Blu-Ray Player にも音声デジタル出力をそなえた機種が多くあります。しかしながらコピーガード機構のために、48kHz 以上の音声デジタル信号はすべて 48kHz にダウンコンバートされて出力されます。これではせっかくの Blu-Ray Audio を生かし切れません。

いっぽうほとんどの Blu-Ray Player は HDMI 出力をそなえています。HDMI は音声デジタル信号、映像デジタル信号、さらに互いの認証とコピーガードのための通信ケーブルから構成された複合ケーブルで、専用のコネクタと組み合わせた製品です。この HDMI 出力は 192KHz, 24bit の信号にも対応しています。ただし R-DACu には HDMI 入力がありませんから、HDMI 信号からデジタルオーディオ信号を分離してさらに SPDIF 規格の信号として出力する必要があります。この機能を持ったスプリッターが製品化されています。もしスプリッターの出力が光の場合、さらに同軸に変換する必要があります。なるべく同軸 SPDIF 出力をもった機種を選定する必要があります。

BLU-RAY PLAYER であればどの機種でも使えるわけですが、ここでも使い勝手のよい機種を選定したいものです。BLU-RAY PLAYER の他に、BLU-RAY RECORDER も使用可能です。しかしレコーダーはディスク認識が複雑で、その分起動が遅く、ディスク交換のつど待たねばなりません。反応の早いプレーヤー専用機の使用をお勧めします。

レイオーディオが推奨する BLU-RAY PLAYER

次の理由で、PIONEER BDP-450 を推奨します。

1. プレーヤー専用機で、立ち上がりが早い
2. デジタル出力専用機で、内部に DAC を持たないので無駄がない。
3. HDMI 出力を 2 系統もち、それぞれ音声、映像専用としても使える。したがってケーブル内の干渉がおきない。
4. USB ポートがあり、USB memory, USB HDD 等に入れたミュージックプログラムを PC なしで再生できる。

以上のような特徴があり、Blu-Ray Audio 再生機として、とくに R-DACu と組み合わせて使う上で優れています。CD, DVD, SACD も演奏できます。もちろん映像出力も高品質のために、映画や音楽映像ソフトを再生する本来の目的にも適しています。

Blu-Ray Audio 再生ブロックダイアグラム

ここでは BDP-450 を使った場合のブロックダイアグラムを示します。

この項にあらわれる必要な機材はレイオーディオで販売しています。

